

生駒市農業ビジョン推進懇話会 第20回会議録 (要点筆記)

1. 開催日時 令和5年2月1日(水) 午後15時00分～17時00分
2. 開催場所 生駒市役所 401・402 会議室
3. 参加者 池上甲一(座長) 井上良作(副座長) 小北利裕 東一司 中本真人
稲葉房子 中世古知子 中村和美 藤原大輔
[事務局] 農林課 植島課長 坂田係長
[欠席] 田中勝久 永尾清之 浅井伊知人
4. 会議の公開・非公開 公開 傍聴人数 なし
5. 議題 (1) 生駒市農業ビジョン 令和3年度実績について
(2) その他

6. 審議内容

(1) 生駒市農業ビジョン 令和3年度実績について

事務局	農業ビジョンの具体的な施策内容について、事業の進捗状況を報告
参加者	農業者の高齢化の問題、後継者不足についてはどのように考えていますか。
事務局	高齢化や後継者不足の問題については今後、各地区で地域計画を作成していく予定となっております。農業経営基盤強化促進法に基づき、県が定めている「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」については令和3年7月に見直しが行われました。しかし、令和4年5月に法律が改正され、令和5年4月1日に施行が予定されております。それに伴い、県の基本方針についても改正された法律を盛り込んだ形で再度、基本方針を変更する予定となっており、県の基本方針が変更されたのち各市町村は基本構想の作成をする流れとなっております。今後、基本構想や地域計画を策定していく中で高齢化の問題や後継者不足についても皆様からご意見を頂戴しながら地域計画を策定していく事となる予定ですのでよろしくお願いいたします。
参加者	半農半X支援事業であるファーマーズスクールについて熱心にやっていますが、そのスクールを卒業された方たちが遊休農地を借りられた場合、農機具とか草刈り機を持ってもらえないし、仮にあったとしても機械や草刈の扱い方など知らない部分も多いと思うので今後、講習会を開くとか、何かの形で補助とかを今後考えたらいいと思います。 その方が遊休農地の活用も増えてくるのではないかと思います。 また地域とのかかわり方などを徹底して貸出時に説明していただきたいです。
事務局	遊休農地を貸し出す際は、地元との調和を大切にすることや、水の問題について、車は乗り入れることができない旨を説明し貸出を行っております。 遊休農地を借りたい方や、市民農園を借りたい方など農地のニーズは高まってきております。今後も貸し出しを行う際には文書だけでなく口頭でも注意喚起していきたいと思います。 講習会や補助の問題については、令和5年度に予定しております。
参加者	令和3年度に新規就農者が3人増えているのは素晴らしいことですが、新規就農者は初期投資が非常にかかるので、中古農機具のリース事業みたいのはそこまで費用がなくてもできるので、そういったものを考えてほしいと思います。 草刈機1つにしてもリースがあれば、とても助かると思います。 草刈ボランティアを募集するのも1つの方法だと思います。

参加者	借りる土地の面積が増えると、当然草刈りの面積も増えてきます。 新規就農者は増えていますが、草刈まで手が回らない人も多いため、そういったところに障がい者雇用であるとか、草刈ボランティアがいてくれたら助かると思います。
参加者	そういった感じのことは今後の地域計画に盛り込んだりできるんですか？
事務局	県の基本方針がどのような内容で変更されるのか、県の基本方針が変更されたのち各市町村はどのような基本構想の作成しなければならないのかが示されていないため、現段階では何とも言えません。 また、市内全域を対象に地域計画を定めないといけなくなっていますが、調整区域がない地域や、あったとしても山林等のみで田畑が極端に少ない地域については、地域計画を定めない可能性もあります。 令和5年度により詳しいお話をさせていただける予定です。
参加者	農業者だけでなく他の地域住民も関われるような地域計画を作っていただけたらいいなと思います。
参加者	草刈機の話に戻りますが、農業者は草刈り機を数台、所有していたりします。 トラックを持ってる人に対してなら農機具を貸し出しすることもできます。 機械を新規就農者や遊休農地利用者に使ってもらうのは問題ないですが、結果的に人手がないのが問題であると思います。
参加者	今、農家であった人たちが農業をやめて遊休農地がどんどん増えている現状となっていますが農業をやめた人でも農機具や草刈り機は持っていると思うのでそのような人を集めて組織的なものを作ってみたらどうですか。 遊休農地を借りてて思うことは、地域の農家の方が畑までの畔の草刈りをやってくれたり、利用者としてそれを手伝ったりしているので、そういった活動1つにしても、定着した組織を作った方が、他の利用されていない遊休農地の草刈りを協力しながら行ったりすることができるのではないかと思います。 遊休農地の利用者は本当に野菜等を作りたい人がきていると思います。でも、結果的に地域の方と交流なく1人でやっている人の農地は、草がぼうぼうになったりしているので、周りとの協力しながら遊休農地を借りれるような仕組みもあったらいいと思います。
参加者	数値的に見ても遊休農地が増えてきているので今後の対策とかは何かあったりしますか。
事務局	令和3年度の報告ではありませんが、令和4年度から半農半X支援事業という事業を開始しております。 この事業は、普段仕事などをしている方を対象に土日に農業を学んでもらい、最終的に市民農園や遊休農地活用事業を利用してもらい、結果として新規就農者の獲得や遊休農地利用者の増加を見込んだ事業となっております。
参加者	今後も半農半X支援事業を続けながら、新しい担い手が増加することを期待しております。
事務局	少し話が変わりますが、来年度は農業ビジョンを策定して5年目を迎えることからビジョンの見直しの年度となります。 数字を触るだけでなく、いらない事業は削る、新たな事業を追加するような形で見直ししたいと考えております。 新たなオブザーバーを迎え、年4回程度開催する予定となっております。 今、お話しいただいている半農半X支援事業も盛り込んだ形にできたらと考えております。
参加者	地産地消をもっとアピールしないといけないと思います。 いこまレストランや地場野菜PR事業など先進的な取組を実施しているのはいいことだと思いますが、HPやSNSだけでは少し物足りない感じがします。 ネットの情報だけでなく、何か他の方法を検討してもいいかなと思います。
参加者	移動販売などの実績は伸びているんですか。

参加者	出店する自治会数は伸びているんですけど、買い物に来てくれる人の多さは自治会によってまちまちですね。 回覧してくれてる自治会もあれば、してない自治会もあります。 せっかく販売に行っているのにお客さんが少ないとがっかりします。 自治会によっては、買い物に来たお客さんがチラシをくばってくれたりしてる自治会もあります。そういったところは結果として来客が増えています。
事務局	来年は13地区を予定していますが、農業振興協議会を中心に今後、増やせる方法を検討していきたいと思います。 喜んでくれてる市民の声は多数あるので、行政としては増やしていきたいと思っています。
参加者	1日で2自治会行くことも可能なので日にちを調整したら増やすことは可能であると思います。 他の行事、100歳体操とかと併せてくれている自治会もありますが、なかなかお客さんとして来てくれる人は少ないのが現状です。
参加者	結局、自治会次第で集客の数は変わってしまいますね。 自治会が頑張ってるところは、LINEグループがあつたりして、集客も多いところもあります。
参加者	ひとり一人のファンを作って、ロコミで広げる方法が一番いいのかもしれないね。
参加者	買い物来た人に、次回はいつですよ、みたいなチラシを渡したりできないんですか。
参加者	新年度に向けてそう言った方法など、たくさんの方が来れるような方法を検討してもらえたらと思います。
参加者	先ほどの話に戻りますが SNS の投稿は、前日にやっていただくと多少変化があるのではないかなと思います。 あと、給食センターでの野菜なんですけど、地元の野菜を使うのは地産地消の取組としてよいと思うんですけど規格が厳しいので何か良い方法はないですかね。
事務局	規格に合わない野菜は1つ1つ職員が手で作業することになり、10,000食以上の給食を当日の朝から作らなければならない中なのでかなり厳しいと思います。 ただ、保育所やこども園に関しては各園に調理室があるため今後、担当部署と協議するのも良いと思います。
参加者	10kg単位でも規格外を買い取ってもらえたら助かりますのでよろしくお願いします。
参加者	野菜はいくらでも作れるが置いておくところがないので、給食センター用の貯蔵庫みたいなものがあれば、尚いいと思います。
参加者	話しが戻りますが、遊休農地の草刈りボランティア的な組織化についてですが、年寄ばかりの地区で組織化したところで誰も出てこれないと思います。 草刈機などの機械類は持っていたとしても多分無理だと思うんですけど。
参加者	そういった方に草刈機を借りて、遊休農地の草刈りを借りる人がやったらいいと思います。 遊休農地を借りる人のほとんどは草刈り機なんてもっていないと思うので。
参加者	そういった取組であればすごくいいと思います。
参加者	若者で草刈り機さえあれば、そういった草刈ボランティアに参加したい学生も多くいるので、そういった若者を集めるのもいいと思います。
事務局	そういった活動に対して、核になる若者がいれば、組織としていいものができるのではないかなとも思います。 行政が中心になると続かないので、そういった若者を中心とした団体などがあれば理想だと思います。
参加者	意見も出尽くしたのでこれで懇話会を終了したいと思いますがいかがでしょうか。

参加者	遊休農地を借りて色々作ってる人が多い中で、仕事をリタイヤして借りてる人と、まだ現役で働いてる人がいてると思いますが、その差がすごく大きくて、仕事をリタイヤして遊休農地を借りてる人は、毎日畑に来て作業されています。 その方に地元のパトロールとかの事業に声をかけても参加してくれて地元との活動に非常に強力的です。そういった人なら、草刈ボランティアに参加してくれると思いますが、現役で働いてる人は、まず参加することはないと思います。
参加者	そういった遊休農地を借りてる人たちと地域の人たちの交流の場を作ることが、組織化する第一歩だと思います。 できたら、そういった普段仕事している人を巻き込んで地域交流してほしいと思います。
参加者	いろいろ課題もあると思いますが、時間が来ましたのでそろそろよろしいでしょうか。

(2) その他

参加者	その他について事務局から何かありますか。
事務局	先ほども申し上げましたが、来年度は農業ビジョンの見直しの年となります。 いろいろご意見や新たな施策を考えていただかないといけなくなりますが、ご協力いただきますようお願いいたします。 それでは、これをもちまして懇話会を終了したいと思います。 長時間にわたりありがとうございました。